

2024年（令和6年）3月11日

生徒・保護者の皆様

藤沢市立滝の沢中学校
校長 笹原 信吾

2023年度（令和5年度）藤沢市立滝の沢中学校 学校評価の結果とまとめ

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、ご協力をいただきました「学校評価」の集計結果をご報告いたします。今年度も多くの皆様にご協力をいただきましたことを、重ねて感謝申し上げます。

「学校評価」の結果とまとめ

以下の分析は保護者用の質問項目をもとに、その結果を枠内にまとめました。自由記述によるご意見等は、記名いただいたものを中心に、太枠線内に抜粋・要約する形で載せております。そして、今年度の取り組みおよび、次年度に向けて学校として考えていること等を回答しております。

参考：A評価＝アンケートでは「できている」という評価

B評価＝同じく「だいたいできている」という評価

生徒＝保護者アンケートと関係が深い項目について、前年度→今年度という比較で掲載いたしました。

1. 【教育目標・方針について】

質問1 「笑顔であいさつが適切に行われている」

*保護者：A評価+B評価（昨年度）86.2%→（今年度）85.9%

*生徒：「理解し、実行している」（昨年度）89.9%→（今年度）89.3%

生徒、保護者多くの皆様に学校教育目標「笑顔で挨拶」にご理解をいただいていることに感謝申し上げます。子どもたちが笑顔で挨拶できるように『ひとりになれる・ひとつになれる』というスローガンのもと教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいりました。生徒は、校門や昇降口での朝のあいさつ運動に積極的に取り組むなど、自治の力を発揮して活動してくれました。また、今年度は、社会福祉協議会のご協力により、9月と2月、生徒が一斉下校となる日に、下校時の見守りを行っていただきました。「生徒たちから多くのあいさつをしてくれた」とご報告をいただいたことは大変うれしく思っております。今後とも保護者・地域の方々のお力もお借りしながら努力してまいります。



2. 【授業・評価について】

質問2 「わかりやすい授業が効果に表れている」

*保護者： 75.7% → 76.0%
*生徒：「進んで学んでいる」 90.8% → 87.3%

質問3 「学力や成長を適切に評価している」

*保護者 89.0% → 88.5%
*生徒：「自分の学力が適切に評価されていると思う」 88.0% → 88.0%

質問4 「指導法の工夫や改善の効果が出ている」

*保護者 79.8% → 80.2%
*生徒：「クラスメイトと学びあえている」 94.1% → 93.7%

- ・評価の仕方がよくわからない。
- ・授業参観時に数学の黒板で行う授業を見ました。1年生の時はパソコンの画面を映し出す形で、映し出される範囲は狭く、とても見にくい印象でしたが、今年は黒板全体を使ってとても見やすく、チョークの音が学校の授業という雰囲気をより感じさせ、親も気持ちが引き締まる感じがありました。
- ・たびたびクラスがうるさくて授業が進まない、うるさくて頭が痛いと訴えます。先生方が頑張っているのには感謝しておりますが、もう少し落ち着いて授業が受けられるようにしていただけるとありがたいです。

授業については、可能な限り生徒の主体的な学びや級友との学び合いの時間が確保できるよう各教科で工夫をしております。また、一人1台の端末は、授業の中でさまざまな場面において活用され、学級閉鎖時には状況に応じてオンライン授業を実施いたしました。授業は、生徒にとって学校生活の中でもっとも長く、大切な時間であり、その時間をさらに充実させていくため、職員一同日々授業改善に努めてまいります。

評価内容・方法については、生徒へは授業内で、保護者の皆様には5月2日に行われた教育課程説明会において説明する機会を設けておりましたが、今後もより理解いただけるようていねいな説明に努めてまいります。

さらに、本校は、昨年度に引き続き、「かながわ学びづくり実践研究推進校」として、「指導と評価の一体化」を目指し、授業改善に取り組んでおります。職員の校内研究会として、6月14日には、1年2組、2年6組、3年5組を対象として、県や市の指導主事3名のご指導のもと研究授業および研究協議を実施しました。2月14日には、慶應義塾大学教授 藤本 和久 氏 を講師として招聘し、『主体的な学び合いのために～意見（思いや考え）を伝え合う・認め合う授業の工夫～』という内容で、2年3組を対象として、研究授業および研究協議を実施しました。



3. 【生活指導・人間関係について】

質問5 「挨拶やマナーなど基本的な生活習慣が身についている」

*保護者 86.9%→86.5%

*生徒「あいさつやマナーなど基本的な生活習慣ができている。」 95.0%→95.3%

質問6 「豊かな人間関係が築けるようアドバイスをされることもある」

*保護者 84.9%→83.8%

*生徒「友人との関わりを大切にし、いじめが起こらないようにしている」

97.7%→98.2%

- ・自己肯定感を高める為にも、特に目立たない生徒に対しても、褒めて育てて行ってほしいです。
- ・担任の先生は、とても熱心に生徒たちと向き合ってくださいに感謝しております。
- ・日頃より、子どもたちのために日々ご尽力頂きありがとうございます。先生方のお忙しい時間は承知しています。ですが、生徒一人ひとりにもう少し寄り添うのは難しいでしょうか。担任の先生は勿論ですが、担任を持っていない先生も含め本当に伝えたいことを言えない、伝えられない、頭ごなしな聞き方、決めつけたような言い方を子どもたちにしていませんか。子どもたちなりに沢山、考え、悩み、伝えようとしているサインを読み取れるぐらい、子どもたちと上辺だけでなく心で向き合ってもらえる先生が増えてほしいと願っています。家庭を出て、外で接する大人は常に先生です。子どもから見た“大人って”が先生ということは、保護者以外の大人に対して、どんな風に中学生の子どもに映るのか考えて頂ける時間があると幸いです。
- ・担任の先生を始め、先生方が一人ひとりに対して親身になってくれていると感じ、とてもありがたいです。
- ・委員会の話をよく聞きます。安心しております。滝中のコミュニケーションは良いと思います。

学習指導要領においても、「個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること」とあります。本校でもあらゆる教育活動の中で、「ひとりになれる（自立・自律）・ひとつになれる（共生・協働）生徒の育成」に取り組んでまいりました。今後も引き続き、自分で主体的に考え、判断し、自分らしく行動していく力、そして、お互いの良さを認め合いながら、一つの目標に向かって協力できる力の育成に取り組んでまいります。

今年度は、1年生において、オンラインでNPO法人ストップいじめ！ナビ所属の弁護士の方を講師として「いじめ」について考える授業を実施しました。8月25日には、『「傷つきに寄り添うこと」～自尊感情を育むかわり～』というテーマで、昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 副島賢和 氏を講師として招聘し、研修会を行い、近隣の小学校、けやきの会本部役員の方々にもご参加いただきました。また、11月14日に道徳研修として、文教大学教授 赤坂 雅裕 氏を講師として招聘し、1年4組を対象として、道徳の授業について研究授業および研究協議を実施しました。今後も研修を重ね、生徒の自尊感情を育むために、より良い指導ができるよう努力してまいります。



4. 【キャリア教育について】

質問7 「キャリア教育の成果が出ている」

- | | |
|------|-----------------------------------|
| *保護者 | 69.6%→72.8% |
| *生徒 | 「職業学習を通して自分の将来を考えている」 66.3%→69.0% |

質問8 「進路情報の発信が役立っている」

- | | |
|------|--------------------------------|
| *保護者 | 79.5%→87.5% |
| *生徒 | 「進路の情報を手に入れ役立っている」 63.5%→67.3% |

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・進路について具体的に教えてほしい。子どもたちにも先輩の話など聞ける場があると実感しやすいのではないか。・進路指導では、どこの学校を受験するのが面談時の話題の中心ですが、これまでの努力の評価をしてもらうことで、受験へのモチベーションが上がると思います。塾とは違い、人間性や心の成長を、大人の視点で子どもに伝えることのできるよい機会にできたらな、と思いました。 |
|--|

学習指導要領においても「多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる」生徒の育成を目指しています。本校においても、各学年とも生徒の職業観を育成したり、生徒に自分自身の生き方を考えさせたりする学習に取り組んでおりますが、今年度も保護者・生徒の評価は低めですが、昨年度よりも本校の取り組みの成果が現れてきていると感じます。2年生は、12月7日に「仕事の学び場 Jr.」、2月2日に「職業体験」を実施し、現場で働く方から「はたらく」ということについて学び、考える機会を設けました。今後もキャリア教育（生き方を考える）を実施してまいります。

高校入試の制度は、社会の要請等により年々変化し、今年度から公立高校共通選抜においてインターネット出願が始まりました。また、高校の個性化も進み、生徒にとって選択の幅は広がっています。今後も正確な進路の情報を収集し、適切な時期・内容を検討しながら、指導・助言ができるように努力してまいります。

5. 【生徒の自治活動について】

質問9 「委員会、行事、教科などの活動が成長につながっている」

- | | |
|------|--------------------------------------|
| *保護者 | 92.5%→87.4% |
| *生徒 | 「委員会、行事、教科等の係を積極的に行っている」 89.0%→87.0% |

質問10 「部活動が子どもの成長につながっている」

- | | |
|------|------------------------------|
| *保護者 | 90.4%→87.5% |
| *生徒 | 「部活動に積極的に参加している」 92.8%→91.9% |

質問 1 1 「学校行事が子どもの成長につながっている」

*保護者	93.6%→90.5%
*生徒 「学校行事に積極的に参加している」	94.7%→94.1%
*生徒 「その活動を通して、成長している」	93.0%→94.2%

- ・今後も出来るだけ学校行事など参加し、学校内の様子を少しでも肌で感じていければと思います。
- ・お友達にも恵まれ、部活では仲間にも恵まれ、学校がとても楽しいようです。
- ・先生方の手厚いサポート、先輩方のかっこよさと優しさに支えられて充実した学校生活を送れているのではないかと思います。

部活動が盛んであることは滝の沢中学校の特長の一つです。生徒は、保護者の皆様、地域指導者の方々のご支援を得ながら、大変熱心に参加しており、部活動の教育的意義は実に大きいと考えます。顧問も生徒の意欲に応えるために熱心に取り組んでいます。しかし、一方で部活動は教師の勤務を要しない日（休日）の活動も含まれるため、長時間勤務の要因となり、教員の「働き方改革」の視点から改善も求められています。そのため、文部科学省での提言を受け、藤沢市においても持続的な部活動制度と教員の働き方改革の両方を実現するため、今年度より休日の部活動の段階的な地域移行を図っており、本校の陸上競技部が市内のモデル校として取り組んでまいりました。本校でも双方のバランスを取りながら、生徒・保護者の期待に応えられるような方法を模索して参りますので、何卒ご理解ください。また、部活の活動方針は各部活動で異なるものです。生徒には「部活動紹介」で方針、練習日程など説明をしておりますので、選択をする上で参考にしてください。今後も、部活動基本方針に基づき、子どもたちが目標に向かって意欲的な活動ができるよう職員一同で適切な指導を行ってまいります。



学校行事には、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育成するねらいがあり、力を入れて取り組んでいるものの一つです。今年度の体育祭は、保護者の人数制限を行わず参観していただくことができました。また、合唱祭は市民会館での開催、文化部のための文化発表会も実施することができました。3年生は修学旅行、2年生は横浜校外学習、1年生は八ヶ岳野外体験教室と無事実施することができ、子どもたちとともにたくさんの心に残る行事を創り上げてきました。子どもたちの頑張りと、保護者の皆様のご支援に感謝いたします。今後も多くの生徒の個性が輝く場面づくりに努めてまいります。

6. 【施設・設備について】

質問 1 2 「清掃美化や環境整備がなされている」

*保護者	92.5%→94.4%
*生徒 「清掃美化を積極的に行っている」	92.6%→92.4%

- ・体育館の狭さと老朽化が気になります。

毎日の清掃活動に加えて、毎朝、生徒がボランティアで校地内の清掃をすすんで行ってきている姿勢に、心よりうれしく思っています。また、花壇は、2014年からご活動いただいている花壇ボランティアの皆様とボランティア部の生徒によって1年を通して整備が行われており、地域の方からお褒めの言葉をいただいています。校舎は古くなってきてはいますが、今後も、施設・設備は正しく、丁寧に扱うよう指導し、定期的実施している安全点検を継続しながら生徒が安心して生活でき、職員がより質の高い教育活動ができるよう環境改善に努めてまいります。また老朽化・不足している設備等については今後も市に対して改善の要望を図ってまいります。

7. 【学校・家庭・地域のコミュニケーションについて】

質問13 「避難訓練等の効果が出ている」

- *保護者 90.3%→96.8%
- *生徒にこの質問はありません

質問14 「学校からの情報発信が子どもの成長に役立っている」

- *保護者 88.4%→90.6%
- *生徒 「学校だより等を家の人に渡している」 83.6% (今年度からの項目)
「学校だより等の内容について、家の人と話すことがある」 73.6%→61.6%

- ・滝中ホームページに学年だよりの掲載がされないのは何か理由があるのでしょうか。載せていただくと便利で助かるのですが。
- ・行事や説明会などで毎回校長先生のお話の楽しいこと。あのたった数分間の満足感、子どもたちは幸せ者だと思います。あの時間が当たり前ではない、本当に話をする相手のことを考えて話をしてくださっているというのは、きっと大人になっても忘れないでしょうし、成長の糧になっていくのではないのでしょうか。お世話になって4年目、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は、慶応義塾大学准教授 大木 聖子 氏を招聘し、防災研修会を実施しました。2年生において、防災教育の研究授業を行うとともに、職員は実動訓練を行いました。これまでの避難訓練を見直し、いざという時に、生徒・教職員が“いのち”を守る行動ができるように、防災に対する意識の向上に努めてまいります。

また、10月には、悪天候時における生徒下校の際の引き渡しについて、あらためて引き渡し方法を整理し、保護者の皆様にお知らせをいたしました。



地域・保護者との情報共有等はいへん重要と考えています。そのため、今年度も学校公開、学年・学級懇談会、家庭訪問・三者面談を実施し、保護者の皆様にご来校いただく機会をできる限り多く設けてまいりました。また、学校・学年だより等各種のお便りでも学校の様子を発信しています。ホームページでは、学校だよりの掲載に加え、学校評価のご意見を受け、学年だよりを保護者ページより閲覧できるよう改善いたしました。生徒の学校での様子をお伝えすることは大切であり、今後もきめ細かい情報発信に努めてまいります。

8. 【その他のご意見】

- ・警察、市役所、教育機関と連携して「自転車の交通ルール」教習を希望します。在校生の年代はコロナ禍で小学校での自転車講習が中止されていまして、正しい知識を教習してほしいです。
→交通安全教育の必要性を本校としても感じておりますので、全校集会時には、生徒指導担当より自転車の交通ルール等について交通安全の話をさせていただいております。また、来年度に向けては警察官等による交通安全教室の実施を予定しております。
- ・とにかく学校に来ない（来られない）子どもの数が多く、その子達の行く末が心配です。家に閉居してしまっている場合は、どこか学校以外の場に繋げることはできないでしょうか。
- ・学校というより、社会問題だと思いますが、不登校の子どもが増えていることは残念に思います。
→生徒や保護者の気持ちに寄り添いながら、生徒が社会的自立のためにできることを一緒に考えていきたいと考えております。お子さまのことでご心配なことがございましたら、担任をはじめ職員にご遠慮なくご相談ください。また、今年度は、別室登校のための『かめのさわルーム』の環境をけやきの会にもご協力いただき、整備しました。月曜日から金曜日の午前中はスタッフを配置できましたので、さまざまな理由で教室に入りづらい生徒が安心して登校し、学習できる場として今後も積極的に活用していきたいと考えております。なお、スクールカウンセラーも今年度より週3回勤務しておりますので、ご活用ください。
- ・学校給食を小学校のように一律して欲しいです。選択制だと子どもは弁当を頼んできます。
- ・給食の時間をもっととって、ゆっくり食べさせてほしい。
→10月には生徒への学校給食アンケートを実施した結果、本校生徒は、給食を利用する理由として、「栄養バランス」をあげている生徒の割合が市全体に比べて高く、食の大切さをわかっている生徒が多いと考えられます。また、本校の喫食率は市内でも高い方ではありませんが、給食を利用していない生徒のうち、「利用する生徒の割合が増えれば注文する」と回答した生徒は、約30%でした。本校では、今年度も給食試食会を在校生と新入生の保護者対象に行いました。今後も給食を利用したい生徒が利用しやすい環境を整えていきたいと思っております。なお、昼食時間につきましては、さまざまなことを考慮し設定しておりますが、これ以上延ばすと下校時間が更に遅くなってしまう課題も生じることをご理解いただきたいと思います。
- ・東門から左に歩いて行くと、体育館とバスケットボールコートの間付近の柳の木の枝葉が垂れ下がり、歩道を歩く人にぶつかります。少し短く切っていただけるとありがたいです。
→ご迷惑をおかけいたしました。お知らせいただきありがとうございます。
- ・クラス委員として微力ではありましたが、何かしら子どもたちに関わることをお手伝い出来たのはいい経験となりましたし、学校もどんどん使える保護者の手を利用していいのではないのでしょうか。
→今年度もけやきの会を始め、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、感謝しております。現在、来年度に向けて、けやきの会サポーターへの登録の依頼をしております。多くの皆様の登録をお待ちしております。

9. 学校関係者評価委員会からの提言

2月27日（水）に行われた学校運営協議会兼学校関係者評価委員会では、今回の学校評価の結果について、「今年度の成果」および「来年度への課題」について検討いたしました。

○今年度の成果

- ・「指導法の工夫や改善」と「指導と評価の一体化」への理解
- ・安心、安全な環境づくりへの取り組みへの理解



○来年度への課題

- ・キャリア教育の充実とともに、取り組みを広く周知すること
- ・不登校生徒への支援（引き続き別室登校の充実など）
- ・支援の必要な家庭に対して関係機関との連携を図り、保護者の交流の場を設けること
- ・「学校評価」の実施方法の工夫



10. おわりに

学校評価実施にあたり、大変ご多用の中ご協力いただきましてありがとうございました。昨年度評価の低かった項目「キャリア教育」「進路情報の発信」につきましては、今年度は昨年度に比べ、少しではありますが評価が高くなり、改善のための努力が保護者の皆様にご理解いただいていることをうれしく思っております。また、全体的には昨年度に引き続き高評価ですが、依然として評価の低い項目やご指摘いただいた点を真摯に受け止め、今後改善を図ってまいります。

また、学校や職員の思いが十分にご理解いただけていないと感じる部分につきましては、学校だよりや学年・学級通信等、様々な機会を通じて丁寧な説明が必要だと感じています。

今年度から、学校運営協議会がスタートし、学校運営においてさまざまなご意見をいただくとともに、本校が抱える課題について委員より地域へつないでいただくことで、課題解決への取り組みを行うことができました。保護者の皆様におかれましても、学校の対応につきまして、たくさんの温かい励ましのお言葉とともに、ご理解・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

今後も学校教育目標「笑顔で挨拶」のもと、子どもたちの自尊感情を育むために、職員一同、指導・支援に尽力いたします。そして、生徒が楽しく通える、家庭・地域に信頼される滝の沢中学校を保護者の皆様と共につくっていきたくと切に願っております。どうぞよろしくお願いいたします。